

春芽収穫期の栽培管理について

R4.1

アグリ技研(株)

1. 春芽ハウスの温度・湿度の管理について

収穫始めまでは、ハウス内を蒸込み地温も 18℃程になれば萌芽も徐々に始まり、収穫開始後の温度管理は、昼間 25～30℃前後で午後は早目に閉めこみ、夜温 6℃は確保する。ハウス内は、日中の温度湿度との関連を常に考慮しての管理に努める。「ハウス湿度を保てば若茎は太くなる傾向にあります」

☆昼間の温度はやや抑え気味に夜温は極力保つ様にしましょう。☆

2. 水管理について

「圃場の地下水位（灌水時と乾燥時の動き）の変動確認」

増収や品質向上のためには、灌水方法を工夫しましょう。

温度変化に応じての湿度を保つことで増収に繋がります。

ハウスでは、土壌表面と吸収根の多い位置の土壌水分を把握しましょう。

☆「表面」とは土壌の表面（畝上の堆肥などの部分）

☆「吸収根の位置」とは表面から 10 cm です。（貯蔵根は 30 cm 前後）

◎晴天日でハウス内温度も上昇する場合は（乾燥時には 2 日毎の灌水）

ハウスを換気することで、湿度も低下して 50% 台になるので方法としては午前中に 1 回 昼前後に 1 回・・・この場合は表面少量多回数灌水処理（晴天日には灌水を分散して湿度を 70% 前後に保つ）

◎曇天や降雨の場合は

ハウス内湿度も高く推移しているので灌水を控えます。

3. 春芽追肥について

◎春芽収穫時期には

収穫開始後 20 日後から収穫量（120～150 kg）又は（5～7 日毎）での追肥。

① 「**センサイオール 1**」⇒1.5～2.0 袋（リン酸・カリの過剰田）

又は、鮮彩美人 066⇒1.5～2.0 袋（一般的標準田）

② 液肥の追肥は「**ウルル 10 号**」⇒20 kg を月に 3 回程灌水処理。

③ リンサン・カリ・カルシウムの吸収アップや発根促進のために

「**アミクエ**」（有機酸・アミノ酸）5～10 kg を月に 3 回程灌水処理。